

SAIOH

第31回 斎王まつり

新たなる旅のはじまり

平成25年
6月 **1** (土)

(雨天の場合中止)

前夜祭 17時～21時

特別ゲスト/松阪商業高等学校ギター部
開会式・葦舟・斎王他出演者披露

斎王市 15時～21時
斎宮歴史博物館会場

6月 **2** (日) (雨天の場合中止)

禊の儀・斎王群行 13時～15時
上園芝生広場～斎宮歴史博物館

**斎王市
アトラクション** 10時～15時
特別ゲスト/伊勢学園高等学校吹奏楽部

フォトコンテスト作品募集
主催/斎王まつり実行委員会
<http://saioh.jp>

三重県明和町

町制55周年

配役

さいおう
斎王



協力参加
皇學館大学
雅樂部の皆さん



與丁



神農 ありさ
(鈴鹿市 旭が丘小)



古川 みゆき
(四日市市)



内侍



矢形 仁美
(明和町)



女別当



采ね女



采ね女



命婦



采ね女



采ね女



采ね女



采ね女



采ね女

卷之三

第3回斎王まつりは新たなる方のはしまれをテーマに企画してまいりました。
第1回から第30回まで、そこには様々なまつりがありました。また、沢山の人びとが携わり、関わりがありました。そして大勢のお客様にご来場いただきました。

過去斎王まづりはノひとの詩憶の中はどの様に
刻まれてゐるのでしようか。

きた斎王まつり。
今年はさらにク
オリティを高め内
容の充実を図つて
まいりました。





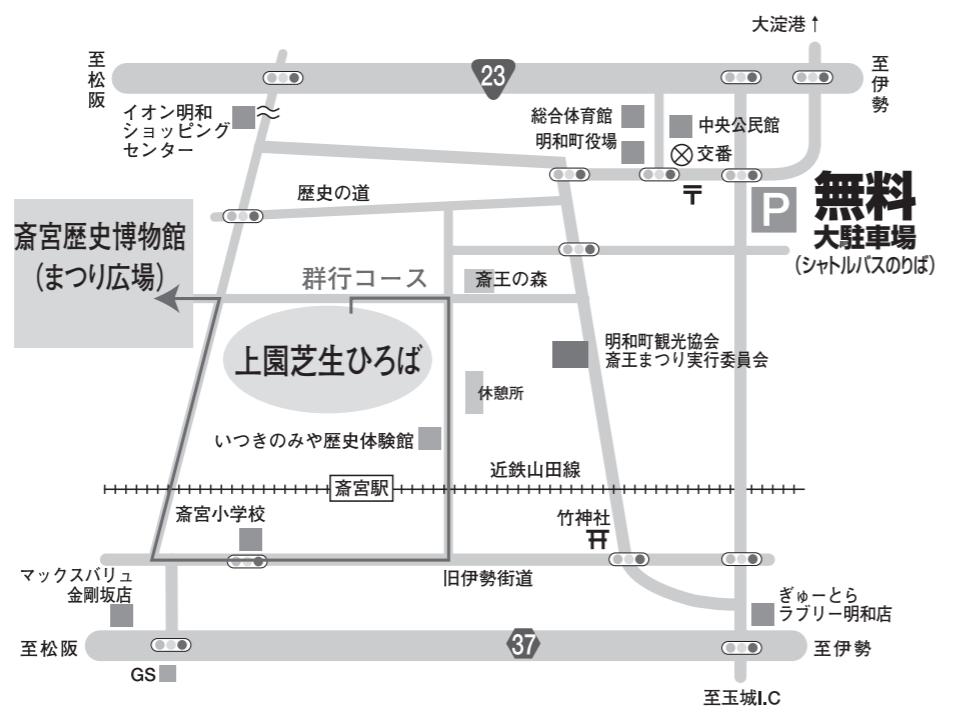
(雨天中止) 6/2(日)

(雨天中止) 6/1 (土)

アトラクション	斎王市
特別ゲスト	伊勢学園高等学校吹奏楽部
10：00～15：00	斎宮歴史博物館会場
13：00	上園芝生広場(斎宮駅北側)
13：45	斎宮歴史博物館会場まで
14：45	上園芝生広場から
15：00	斎王群行

もくじ

斎王まつり配役	2
斎王まつり童・童女出演者	4
斎王をひもとく(その七)	6
斎王一覧	8
斎宮跡の発掘調査	9
斎王の群行行列を考える	11
いつきのみや歴史体験館	13
アカルプロジェクトと葦	14
『小町』とは	16
新実行委員ご紹介	17
図書の紹介 / 実行委員会組織体制	18
斎王まつり実行委員会活動	19
群行衣裳	20
フォトコンテスト	22
第30回斎王まつりの思い出	24



童·童女 出演者

(順不同)



斎王を いもとく (その七)



井上斎王

(後編)

ふるさとの語り部 山川 充造

この時代に河内の国・弓削から出世してきた怪僧・道鏡が、病弱氣味の称徳女帝の祈願治療に成功し、絶大な信頼を受けながら政治の中枢へと昇り、法王の位を得た後も天皇になる画策をしたといわれている。

この頃、井上内親王は白壁王と結婚し、のちに斎王となる酒人女王が生まれ、七年程を経て他戸親王が生まれた。

この頃に花競い咲く奈良の都に育つており、この陰に藤原百川の心の奥底には深慮遠謀の動きがあつたことが後の結果となつて分かつてくことになる。

まつた。

母と弟が悲壮な運命に置かれ、その肉親に逢うことも一言の言葉さえ伝えることも認められぬまま、七七四年九月、酒人内親王には斎宮への盛大な群行の儀式が行われた。それは、何時消されるかも知れない母と弟の身の上を思い、不甲斐ない老齢の父・光仁天皇を見返す別れの儀式でもあつた。二十一歳の斎王群行を記した文献には『莊嚴』の文字で表現されていた。酒人斎王が旅立った翌年の四月二十七日、幽閉の身に在つた母と子は同じ日に死亡が発表され、果たして自殺か、謀殺か、病死でないことは確かであり、後世には薬殺説が多く伝えられ、時に五十九歳と十五歳の母と子の不運な最期であった。

酒人内親王はその夏に解任となり、ひつそりと大和へ戻つた。この八月には伊勢地方に大きな台風が吹き荒れ、死者や倒壊家屋が続出し、斎宮寮も都から修理使の派遣が

七七〇年八月に崩御され、皇嗣難のこの時代、即日、六十二歳の大納言・白壁王に立太子式が行われ、十月には光仁天皇に即位され、井上内親王は五十四歳で皇后の地位に就いた。

酒人内親王は十七歳、他戸親王は十一歳で共に花競い咲く奈良の都に育つており、この陰に藤原百川の心の奥底には深慮遠謀の動きがあつたことが後の結果となつて分かつてくことになる。

他戸親王は光仁天皇と井上皇后の嫡子であることから、翌年には皇太子となつた。

壬申の乱が終わつてから十代ほど天皇の即位には、常に天智天皇系と天武天皇系といった壬申の乱の怨念のようなものがつきまとい、称徳女帝が独身であつたことから後継ぎが立たず、百年余り続いた皇室の渦も、ここで天武系は完全に途絶えることとなつた。

古代史をめくれば、政治の為に出世や保身の術として、そのライバル

が立たず、百年余り続いた皇室の渦も、ここで天武系は完全に途絶えることとなつた。

理由は、皇后は、前斎宮として身につけた巫女の呪術により、鬼道を行つてしまひ、予てから病すべれず、祈祷と薬に浸つていていた称徳天皇が

その災難が突然井上皇后に降りかかる取引で、この呪術により、鬼道を行つた『八虐』の第一の罪である。

十一月に酒人内親王は斎宮にト定められ、芳紀十九歳、稀代の美人であった他戸親王に代わつて山部親王の立太子式が行われた。同じ光仁天皇を父に持ちながら井上内親王の系統は見えない指で着々と棒の外へ摘み出される思いのする中を、またもや井上・他戸の母と子は鬼道の罪を着せられ、二人は遂に幽閉されてしまつた。

まつた。翌年五月には、地震が発生し、宮中には怨靈が毎夜のように現れ、屋根瓦や石が都の至る所に降り注ぎ、十一月には光仁天皇の崩御と

山部皇太子の重病が重なり冬には一滴の雨も降らず、都近くの井戸、川はことごとく干上がつたため、井上内親王と他戸親王の祟り説が発生した。律令制政治といつた、當時としての文明形態が敷かれから初めての天皇に対する大虐殺罪を理由に『廢后』が決まつていつたことは、参議・藤原百川が謀つた政治手法であつたとの憶測が残つてゐる。

後編・終わり



贈られ、『御墓』も『御陵』に改め、

奈良県五條市に宇智陵として祀られ、その魂は『御靈神社として各地に祀られている。

参考史料

斎宮志

語り部の竹の斎王語り

山川 修司

山中智恵子

参考史料

斎宮志

語り部の竹の斎王語り

山川 修司



斎王の群行行列を考える

榎村
寛之

斎王まつりの花形は言うまでもなく斎王の行列です。その元になつているのが、都から伊勢に斎王が五泊六日で旅をした「斎王群行」だといふことは、ご存じの方も多いと思いります。

群行は九月に行われ、その月は
斎月（物忌みの月）として、仏事、
星祭、改葬などの信仰に関係する儀
式は禁止されました。そして都の話
題が群行一色になつたことについて
は『源氏物語』をはじめ、様々な記
録からわかります。しかし肝心の群
行がどんな行列だったのかについて
は意外にわかっていない。斎王の
出発が夜であること、天皇一代に一
度きりのイベントだったことなどか
ら、行列の詳しい構成については記
録がほとんど残らなかつたようだ



177次調査区 東地区全量



大型掘立柱建物(176次調査区)

有するもので、区画内で規則的に配置された建物群にあたるものと考えられます。調査区北端部では、土師器甕が皿で蓋をされた状態で見つかりました。これは地鎮などの祭祀で用いられた可能性があります。このほか、「安」と刻書された須恵器蓋も出土しました。

今回の下園東区画の調査では、西加座北区画で確認された倉庫群と同様に、規則的に配置された建物を五棟確認することができました。ただ、区画の東半部と西半部では建物配置に僅かなずれがあることも確認され、これらが同時期のものかどうかを含め、現在検討を進めています。

広頭地区の調査

有するもので、区画内で規則的に配置された建物群にあたるものと考えられます。調査区北端部では、土師器甕が皿で蓋をされた状態で見つかりました。これは地鎮などの祭祀で用いられた可能性があります。このほか、「安」と刻書された須恵器蓋も出土しました。

今回の下園東区画の調査では、西加座北区画で確認された倉庫群と同様に、規則的に配置された建物を五棟確認することができました。ただ、区画の東半部と西半部では建物配置に僅かなずれがあることも確認され、これらが同時期のものかどうかを含め、現在検討を進めています。

斎宮跡の公開と活用

今年度の調査では、下園東区画の性格を考える上で貴重な成果が得られたほか、方格地割外の状況も明らかとなりました。こうした成果をもとに、博物館では現地説明会や調査報告会等を通じて情報発信を行っています。また、小・中学校の体験発掘や中学生職業体験の受け入れや一般を対象とした「発掘体験ウイーク」など、より親しみを持つて頂ける活用を目指しています。



現地説明会風景



土器埋納遺構(178-2次調査区)

の春日神社に仕えた藤原氏の女性)の行列についての記事でした。 まず、賀茂斎院の行列を見てみましょう。この行列の先頭に立つの

いつきのみや歴史体験館では、平安時代をテーマにした様々な歴史体験メニューがあり、技術文化の体験のひとつに機織り体験があります。

機織りの体験は麻を織る高機たかはたの体験と、絹を織る地機じばたの体験があり、それぞれ復元した機を使っています。

明和町を含む旧多気郡内は、上御糸・下御糸などの地名に残っているように、古代より紡織業と関係が深く、神さまに奉る絹や麻を奉織する服部神部はとりかんべという人々の住んでいたところです。

斎宮からもほど近い所にある神麻続機殿神社（松阪市井口中町）は、上館あらまちとも上機殿かみはたでんともいわれ、内宮の別宮の荒祭宮に納められる麻（荒妙）あらたえを奉織しています。体験に使用している高機は、この神麻続機殿神社で平成三年まで使っていた

手織りの樂しき本舗

卷之三

いづきのみや歴史体験館では、平安時代をテーマにした様々な歴史体験メニューがあり、技術文化の体験のひとつに機織り体験があります。

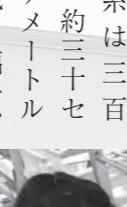
機織りの体験は麻を織る高機の体験と、絹を織る地機じばたの体験があり、それぞれ復元した機を使っています。

明和町を含む旧多気郡内は、上御糸・下御糸などの地名に残っているように、古代より紡織業と関係が深く、神さまに奉る絹や麻を奉織する服部神部はとりかんべという人々の住んでいたところです。

神麻続機殿神社（松阪市井口中町）は、荒祭宮に納められる麻（荒妙）を奉織しています。体験に使用している高機は、この神麻続機殿神社で平成三年まで使っていた

もうひとつの機は、福岡県の宗像大社の御神宝として古代より伝わる「伝御金蔵金銅製織機」というミニチュアの機を四倍の大きさに拡大し、実際に機織りが可能となるように木製で復元した地機です。体験にはやはり太い絹糸を使用し、絹糸は光沢のあるもの、織り込む緯糸は紡ぎ糸で、どちらもやはり草木染めで染めたやさしい色合いの絹糸です。地機は、絹糸を自分の体で支えながら、

る麻糸は太め
の紡績糸で、
あらかじめ機
にかけられた
経糸は三百
本。約三十七
センチメートル
の織り幅で、



機織り体験（予約制）
【定員】 高機（麻）各回4名
地機（絹）各回2名
【参加費】 各1,500円
【体験時間】 10時～12時／13時30分～15時30分
【体験日】 各月に設定していますのでお問合せください。

張り具合を調整して全身を使つて織るので、高機のように手早く織ることはできませんが、手順を体が覚えて動きがスムーズになると、楽しく織りすすめることができます。機織りの作業に慣れて無心になつて楽しむようになつた頃に体験時間が二時間が終わつてしまい、みなさん残念ですが、自分が織つた布を手にすると、世界でひとつ的作品に満足気な笑顔を見せてくれます。また、次の作品づくりに意欲が湧いてきた方は次回の体験日を予約していかれます。年間をとおして定期的に体験日を設けて、初めての方にも講師の指導やスタッフの案内をいたしますので、ぜひ気軽に機織り体

天皇の身近に使える男女官が続きます。このあたりは宮廷に直結した祭といわれる賀茂祭らしい所です。そして斎院に仕える斎院長官が、門部（かどべ）兵衛（ひょうえ）、近衛などの武官を従えて続くと、いよいよその後に賀茂斎王（斎院）の輿（よし）が来ます。輿は駕輿（こしよし）丁に担がれ、輿長がその引率をします。その後ろには再び近衛や兵衛が左右の警備を固め、その間に屏繖（へいさん）や翳（さざは）や笠など、斎王の姿を隠す調度を持つ者が歩き、斎王の乳母、斎院に仕える女孺（じょじゆ）や童女が馬に乗つて続いていたようです。その後に斎院が神社内で使う腰輿（ようよ）と斎院司の官人や陪從（お供）たちが、そして最後には祭に使う道具や祿物を入れた韓櫃（かひつ）や、馬寮（めりょう）の官人、宣旨（せんじ）という宮廷女官の車、膳部（かしわべ）の官人や関係者の牛車などが続きます。

理する馬寮の官人、近衛府・中宮職・内蔵寮などの官人、左右衛門の門部、兵衛・近衛が斎女の輦を守り、その後ろに姿を隠す調度を持つ者、そして馬に乗った女性たちや荷物を入れた韓櫃が続き、内侍、女別當、童女の車などの女性の牛車がその後に続きます。

このように、一日や二日の短期間の行列の賀茂斎院や春日斎女の行列でも相当に立派なものだったとわかります。斎王の群行の場合、これに加えて、距離が長い、荷物が多い、斎宮寮という役所の人が多いなどの特徴があるのですから、もつと規模の大きなものだつたと考えられるのです。

斎宮に到着した群行の場合で考えると、先ず馬に乗った伊勢国司とその従者たちが先導していたと考えられます。従者の中には武装した者

高い身分の者でした。斎院や斎女と
違ひ、近衛や中宮の官人は付きませ
んから、その後には斎宮寮の頭以下
の官人やその従者が続いたものと
考えられます。そして、斎宮寮の
門部司・馬部司などの武官の官人な
どに警護された斎王の輿、葱華輦と、
笠や翳を持つて威儀を整える者たち
が続きます。長奉送使の従者なども
斎王の警護をしていたかもしだれませ
ん。その後に内侍以下の斎宮女官の
一部が馬に乗つて続き、斎王の乳母
などが乗つた牛車などが続いたもの
と考えられます。さらに斎宮寮の官
人や従者の残りがその後に続き、行
列の最後には、斎宮に送られる荷物
の一部も付いていたかと思われま
す。そして忘れてはならないのは、
斎王の輿の前には、主神司の中臣、
忌部氏の官人が配置されていたはず
だということです。斎王が川を渡る

A black and white photograph capturing a traditional Shinto ceremony. A woman, dressed in a white kimono and a highly ornate headdress featuring a large white feather, is the central figure. She is performing a ritual, possibly a hand ceremony, with a man who is also dressed in white ceremonial attire. The man is seen from the back, with his hands clasped. In the background, other participants are visible, some in white and others in darker clothing, contributing to the solemn atmosphere of the event.



いつきのみや歴史体験館

三重県多氣郡明和町

TEL.0596-52-3890

ホームページ <http://www.itukinomiya.jp/>
【入館料】無料 【開館時間】9:30~17:00
【休館日】月曜日(祝日の場合を除く)、祝日の翌日、年末年始
【お問い合わせ】近鉄奈良駅西口より、御動橋を西進してJR奈良駅方面

アカルプロジェクトと葦

NPO法人アカルプロジェクト

コーディネーター 西川 雅規



葦舟とは

葦舟とは、葦をロープで束にし、水上移動に用いるもの。

葦舟が作られていたという歴史は、工ジプトなどに残る壁画や、神話・伝説に見られます。中には、今もなお葦舟を使い続いている文化を持つ人々もいます。日本でも「古事記」にイザナギノミコトとイザナミノミコトとの間に生まれた最初の神様である蛭子命が、葦舟に乗せられて海に流されたと記されています。

また、一口に葦舟といつても、材料は葦に限らず、エジプトではパピルス、ティカカ湖ではトトラというように地域の特産を用いられるようです。葦、薄茅萱、菅、稻藁などを「茅」と呼ぶのに似ているかもしれません。

「葦舟とは、行きたい所へ行くのではなく、行き着いた先が目的地だ」という言葉があります（葦舟関係者のうちで通じる話）。実際に葦舟に乗つて漕いだことのある人には「ふむ、ふむ」と頷けるのではないでしょうか。乗り心地が良く、岩にぶつかっても平気、でも水と風の流れには逆らえません。のんびりと川下りするにはもつてこいですが、逆（川を廻る）は考えたくありません。上流に向かって泳ぐのに似ています。

また、葦舟はわずかな時間でとても簡単に作ることができます。大人3人乗り



葦原の変遷

葦舟が活躍

葦舟が活躍（？）していた太古の頃（数万年前）より、2000年ほど前までは、人は葦原に支えられて暮らしていました。

稻作が始まる

をまき、葦に守られながら育てたかもしれません。また、葦は家を作る材料になります。屋根はもちろん束ねると柱や梁にもなります。簾にして壁にもなり、それを積み重ねて敷き詰めると床になります。葦原の中を歩いたことがありますか？葦は背が高く、夏はその緑のおかげで涼しく、冬は冷たい風をさえぎってくれます。どういうわけか、葦原の中は音が伝わりにくく、すぐ近くの話声も聞こえません。葦原での生活は、過ごしやすくプライバシーも守れたんですね。

しかし、時としてその葦原を取り巻く環境は、自然の猛威にさらされる場所であります。大雨による洪水氾濫・攪乱、津波などの危険地域もあります。時には川筋が変わることもあつたでしょう。でもそれは、被害と同時に肥沃な大地を与えてくれるという恩恵もありました。

その頃は、占いや神託などが今よりもずっと暮らしに根付いており、それによってこの被害から逃れようとしていたのでしょうか。葦原近くに「葦神社」があるのは、うなづけるような気がします。

葦原の頃（？）して、いた太古の頃（数万年前）より、2000年ほど前までは、人は葦原に支えられて暮らしていました。

NPO法人アカルプロジェクトは、環境問題への社会参加を実現するために、環境植物の葦に着目して、とりわけ河川・湖沼環境の保全・復元を目指して葦で舟を作る、葦舟で楽しむ、葦を植える、葦を刈る、葦で笛を作るなど葦をテーマに楽しみつつ、葦による環境循環を地域に作り上げることをまず目標にして活動を進めています。

2002年設立準備委員会発足以来、特に葦舟作りの指導・協力は100隻を超え、地域の環境教育に寄与してまいりました。私もその多くに関わりながら、普段は体験できない貴重な気づきや学びを得ることができました。その一部をここでご紹介したいと思います。



斎宮と葦舟

さて、今年は天津神の代表・伊勢神宮

と国津神の代表・出雲大社の遷宮が行われます。遷宮自体は、伊勢は20年ごとで出雲は60年ごとぐらいとされているのですが、戦争や諸々の事情により、お互いの遷宮の時期が多少ずれることもあつたせいか、今まで伊勢と出雲の遷宮が重なったことはないと言われています。

この記念すべき大事業に際し、アカルプロジェクトも、伊勢と出雲で、「天津神と国津神の大和合」を願い、葦舟を奉納することになりました。この奉納のきっかけの一つに勝美流家元・勝美延三氏とアカルプロジェクト副代表・美内すずえとのつながりがあります。そして勝美氏と斎宮、斎王の舞も深いつながりがあります。そのようなきさつの中、ここ斎宮でも葦舟を作り奉納する運びとなりま



した。それから斎宮の歴史に触れるにつれ、ここも葦舟の似合うところではないかという気が強まつてきました。

その昔、斎王さまがお役目を終えられ都にお戻りになり、次の斎王さまがおつきになるまでの間、ここ斎宮でも様々な仕事があります。前のお住まいをとり壊し、新たなお住まいを建造しなければなりません。お仕えした斎王さまの残された品も思い出と共に多く処分しなければならなかつたでしょう。中でも、気持ちの切り替えは難しかつたでしょう。

例えば、そんな時に葦舟はどうでしょう？

皆で舟をつくり、何かしら思いの品とともに祓川へと流す。



葦とくらし

日本は、太古より「豊葦原中つ国」と呼ばれ、葦がふんだんにありました。特に大きな川の河口近くや湿地には、広大な葦原が広がっていました。葦原は、人々とも密接な関係があり、食・住において多くの恵みを与えてくれました。生き物の揺りかごとも呼ばれ、多くの命を育む場所でもあります。地下茎がしっかりとしてい

るので湿地でも歩き回ることができます。生き物を捕まえたり、野草を摘んだりして食料としての種や家畜と共に川に送り出すためとは考えられないでしょう。出て行つた人は、たどり着いた先で新天地を切り開いたのでしょう。生活は土地に縛られるようになり、このようない習慣は途絶えたのかもしれません。日本では記紀以降、葦舟は歴史から

消えています。

精靈流しの船に藁や茅萱などを使つたものがあるのは、葦舟の名残りと思うのは私だけでしようか？

一方、このような儀式的な使われ方ではなく、素朴に漁に使う文化もあります。この場合は、もっと簡素な舟で、数時間の漁に耐えうる程度のものです。舟と

『小町』の配役は・・・身の廻りの『お世話役』です。

第31回斎王まつり 16

ここ数年、斎王まつりの舞台上から舞台裏まで、あらゆる場所で若い女性たちが元気に活動している姿を見かけた方が多いのではないか。うか。

彼女たちの正体は、出演者OG会『小町』。

全員が斎王役や女官役などで斎王まつりに出演した経験を持っています。

2011年「斎王まつりをもっと盛り上げたい」と有志数名により発足し、現在メンバーは約20名。

当初はまつりの運営補助を主な活動内容としてきましたが、人目を引く華やかな

さが話題となり、まつりの枠を超えて明和町のPR活動や各イベントなどにも引く手あまたの状況です。

今年4月からは明和町観光協会に所属

も、今まで以上に活躍してくれることでしょう。



新実行委員会紹介

斎王まつりへの思い

実行委員会 三浦邦昭

今回初めて斎王まつりの実行委員をさせていただきました。

私自身の自己紹介も含めまして、斎王まつりへの思いを述べたいと思います。

生まれは三重郡楠町、いまは四日市市となっています。幼少時代に三重県を離れてから、名古屋、東京、横浜、茨城などで過ごし、その後仕事の関係で米国に渡りました。アトランタ、サンフランシスコ、サンディエゴなど18年間の滞在を経て、二〇〇九年の秋、実に55年ぶりにまた三重県に戻ってきました。

そして二〇一一年四月、ご縁があつて明和町に居を構えることになりました。天皇の御使いとして神宮にお仕えした斎王に関しては、日本史の中で目にしたことがある位で、明和町に斎宮があつたことは全く知りませんでした。本当にうれしい驚きです。

米国滞在中に、日本に関するいろいろ考える機会が多くありました。

日本は百二十五代二六〇〇年に亘る天

皇家を保持する国であり、これは世界に類を見ません。この歴史の深さは、思想、衣食住、生活習慣など日本人全ての礎となっています。これは、建国後二四〇年の歴史しかない米国に住んでみて、その違いを実感しました。

今回実行委員として斎王祭りに参加することにより、天皇と伊勢神宮のかけ橋となつた斎王の歴史をもつと深く理解したいと思っています。

まだ何も分からぬことばかりですが、皆さまのご指導よろしくお願ひ申し上げます。

今回実行委員として斎王祭りに参加することにより、天皇と伊勢神宮のかけ橋となつた斎王の歴史をもつと深く理解したいと思っています。

生まれは三重郡楠町、いまは四日市市となっています。幼少時代に三重県を離れてから、名古屋、東京、横浜、茨城などで過ごし、その後仕事の関係で米国に渡りました。アトランタ、サンフランシスコ、サンディエゴなど18年間の滞在を経て、二〇〇九年の秋、実に55年ぶりにまた三重県に戻ってきました。

そして二〇一一年四月、ご縁があつて明和町に居を構えることになりました。天皇の御使いとして神宮にお仕えした斎王に関しては、日本史の中で目にしたことがある位で、明和町に斎宮があつたことは全く知りませんでした。本当にうれしい驚きです。



「実行委員会に入った経緯」について

実行委員会 伊藤佳史

「千三百年の祈り」私と斎王まつりとの出会いは昨年30回目となる節目の年でした。

天皇の名代として伊勢神宮に仕えたという斎王。私は、昨年見た斎王群行の中で、斎王とは遠く離れた都から5泊6日の長い旅を経てこの地斎宮へと赴任されると、いかで華やかな存在だと思っていました。しかしながら、斎王についての歴史を読み進めていくうちに判った事は与えられた名譽とは裏腹に責任、不安、別れの悲しみという様々な想いを抱いたままその任に就かれたという史実でした。

私が斎王まつり実行委員会に入るきっかけとなつたのも、大学で歴史学を学び日本史を専攻していた事が大きな要因だったのかもしれません。卒業から数年が経ち、歴史から遠ざかっていた私にとって斎王を知るという事が再び歴史と出会う良いきっかけとなりました。

個人的には、目標に向かってみんなで協力しひつつの事を成し遂げるのが好きな私にとってステージ作りからまつりのPR、グッズの企画など何でも主体的に行動し、作り上げる姿は魅力的なのです。

人として社会人として大切な物は何か。社会に貢献する事で自分も成長していくたい。そんな気持ちから実行委員に入る事を決めました。

「抱負」について

今年の斎王まつりは「新たなる旅のはじまり」というサブタイトルを掲げ31回目を迎えます。

昨年は、沿道から群行の通過を見ていた私も今年は斎王まつり実行委員会の一員として初めてから終わりまで終始斎王まつりに携わって参ります。

地元桑名の地にいてどこまで自分が明和町の方のお役に立てるのか分かりませんが、自分がそうであったように見に来て下さる皆さん的心に残る斎王まつりを作つていけばと思つていてます。温かく迎えていただいた実行委員会の皆様や明

和町の皆様に感謝しながら先人達が築き上げてきた斎王まつりの魅力を全国に広めていきたいです。

いにしえの時を越え、斎宮の地に復活した「斎王」と「いつきのみや」。幻の方と享受出来ればと願っています。

日本は百二十五代二六〇〇年に亘る天

『小町』とは、斎王まつり女性出演者として得た貴重な経験を、これから斎王まつりの企画・運営に反映させ、より素晴らしいイベントに高めていきたい!! という強い想いが形になった有志の会です。

出演者として感じたたくさん想いを発信することから始まりましたが、今まで出演者の身の廻りのお世話やまつりの補佐を務められるようになります。

斎王まつりでは、白装束やオリジナルTシャツを身にまとめて、「笑顔いっぱい!!」活動しています。

『小町』とは、斎王まつり女性出演者として得た貴重な経験を、これから斎王まつりの企画・運営に反映させ、より素晴らしいイベントに高めていきたい!! という強い想いが形になった有志の会です。

出演者として感じたたくさん想いを発信することから始まりましたが、今まで出演者の身の廻りのお世話やまつりの補佐を務められるようになります。

斎王まつりでは、白装束やオリジナルTシャツを身にまとめて、「笑顔いっぱい!!」活動しています。

私達の「斎宮」について
より多くのことを知つていただくために
一地元で読める斎宮関係図書のご紹介

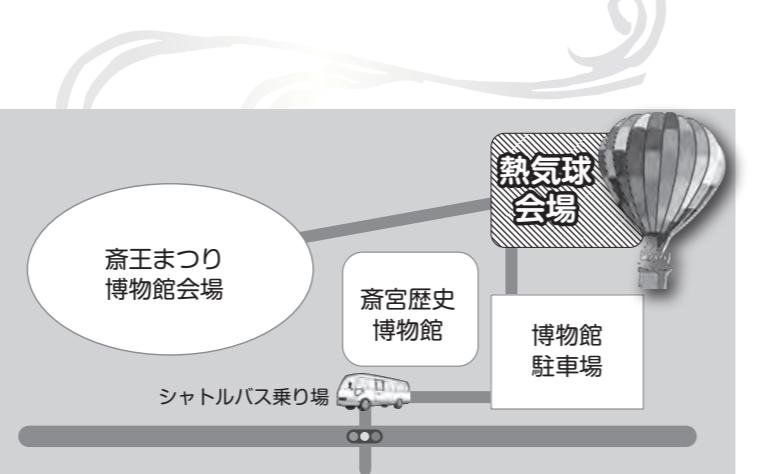
凡例
 ○ふるさと会館（図書館）で貸出可
 ☆いつきのみや歴史体験館
 ◇斎宮歴史博物館図書ホールで閲覧可
 ○ふるさと会館（図書館）で貸出可
 ○ふるさと会館（図書館）で販売
 ミュージアムショップ（図書館）で閲覧可

「斎宮」の入門書として	「斎宮」を知りたい方に	郷土の歴史として「斎宮」を	「斎宮」を歩いてみたい方に	「斎宮」で群行の道を歩いてみたい方に	「斎宮」で歩いた旅した「斎宮」を	「斎宮」について	「斎宮」や「斎王」について
谷口布有緒文 里中満智子画『斎王ロマン 都わすれの詩』明和町○☆ 中野イツ著『斎宮物語』明和町○☆ 山川修司著『語り部の竹の斎王語り』近代文芸社○☆◇ 榎村寛之著『伊勢斎宮と斎王』塙書房☆	奥井宏忠著『別れの御樹—斎の宮と斎宮寮』光書房○◇ 明和町教育委員会編『郷土史に見る斎王』○◇ 三重の文化財と自然を守る会編『伊勢斎王宮の歴史と保存』○◇	田畠美穂著『斎王のみち—伊勢斎宮の文化史』中日新聞本社○◇ 村井康彦監修『斎王の道』向陽書房○☆◇ 『同Ⅱ』○◇	内田康夫著『斎王の葬列』角川書店○◇ 池田美由喜著『鷺草—大津皇子とその姉と』新風舎◇ 郡俊子著『倭姫宮の御巡回』勢陽文芸○◇ 『伊勢斎王の恋』近代文芸社○◇ 『哀しみの伊勢大来斎王』近代文芸社○◇	津田由伎子著『斎王』学生社○◇ 山中智恵子著『斎宮女御徴子女王—歌と生涯』大和書房○◇ 所京子著『斎宮志』大和書房○◇ 『続斎宮志』砂子屋書房○◇ 『斎宮劄記』砂子屋書房○◇ 『斎王和歌文学の史的研究』国書刊行会◇ 『斎王の歴史と文学』国書刊行会◇ 服藤早苗著『歴史のなかの皇女たち』小学館☆	内田康夫著『斎王の葬列』角川書店○◇ 池田美由喜著『鷺草—大津皇子とその姉と』新風舎◇ 郡俊子著『倭姫宮の御巡回』勢陽文芸○◇ 『伊勢斎王の恋』近代文芸社○◇ 『哀しみの伊勢大来斎王』近代文芸社○◇	内田康夫著『斎王の葬列』角川書店○◇ 池田美由喜著『鷺草—大津皇子とその姉と』新風舎◇ 郡俊子著『倭姫宮の御巡回』勢陽文芸○◇ 『伊勢斎王の恋』近代文芸社○◇ 『哀しみの伊勢大来斎王』近代文芸社○◇	内田康夫著『斎王の葬列』角川書店○◇ 池田美由喜著『鷺草—大津皇子とその姉と』新風舎◇ 郡俊子著『倭姫宮の御巡回』勢陽文芸○◇ 『伊勢斎王の恋』近代文芸社○◇ 『哀しみの伊勢大来斎王』近代文芸社○◇



熱気球係留フライトについて

- 日本最大級の気球と扉付きバリアフリーのバスケットを使用し、車椅子の方や乳幼児連れの方も搭乗可能
- 熱気球と地上のアンカーをロープでつなぎ約20m~30m浮上する。(天候により高さは制限される。)
- 一回に大人の方のみで7名、親子の場合は8~10名搭乗可能
- 一回あたりのフライト時間は、乗降時間を含めて約4~5分



第30回（24年度）斎王まつり実行委員会活動報告

（敬称略）

- 1月 16日(月) 会計監査
 21日(土) 役員会
 27日(金) 実行委員会総会
 31日(月) 総務・財務班会議
 2月 1日(水) 三重県観光交流会・東京会場
 10日(金) 出演者募集締切・実施班会議
 13日(月) 三重県観光交流会・大阪会場
 17日(金) 役員会(出演者書類選考)
 26日(日) 「梅まつり」協賛(斎宮歴史博物館)「小町」協力
 3月 2日(金) 役員会(選考会について)
 4日(日) 子供説明会(子ども斎王抽選 中央公民館)
 11日(日) 斎王役選考会(いつきのみや歴史体験館)「小町」協力
 17日(土) ざいしょ市参加(イオン明和ショッピングセンター 着付け体験)「小町」協力
 27日(火) 夕刊三重取材 新斎王役松本さんインタビュー事務所にて
 28日(水) 観光ガイドマガジン「コンパス」主催対談 博物館にて(森下・斎王・松本)
 4月 4日(水) 広報班会議
 11日(水) 県政だより6月号掲載 取材 博物館にて (斎王・松本)
 13日(金) 斎王市会議
 17日(火) 広報班会議
 27日(金) 第1回全体会議 役場研修室にて
 5月 4日(金) 三重テレビ「とってもワクドキ」出演(斎王・松本・子ども斎王・高山)
 7日(月) 三重テレビ「旬感三重」出演(斎王・松本)
 10日(木) 知事表敬訪問
 13日(日) 出演者説明会・看板・のぼり準備・ステージ道具製作
 15日(火) 着付け教室(午後)
 16日(水) NHKほっとイブニング打ち合わせ
 17日(木) 日本画家 中村 麻美さん来所(事務局対応)・名古屋テレビ「どですか」打ち合わせ
 中日新聞取材・アトラクション会議
 20日(日) のぼり立て(午前)子ども説明会(午後)ステージ組み立て
 22日(火) 伊勢新聞取材
 24日(木) 夕刊三重取材
 25日(金) 岐阜ラジオ出演(事務局)・最終全体会議
 27日(日) ステージ作り・KBS京都ラジオ出演(25代斎王・鳥井)
 29日(火) 名古屋テレビ「どですか」出演(斎王・実行委員)・衣裳準備
 31日(木) FM三重ラジオ出演(事務局)
- 6月 1日(金) ステージ作り・NHKほっとイブニング出演(斎王・松本・前斎王・竹内・事務局)
 2日(土) 前夜祭
 3日(日) 斎王まつり
 10日(日) 片付け・打上・[Cheers!伊勢志摩]斎王十二単モデル
 22日(日) 伊勢まつり会議(斎宮歴史博物館にて)・斎王まつり反省会
 7月 13日(金) フォトコンテスト応募締め切り
 18日(水) フォトコンテスト1次審査
 24日(火) 役員会(フォトコンテスト入選・入賞作品選考)応募者96名応募作品228点
 8月 19日(日) 第30回斎王まつりフォトコンテスト表彰式
 第30回斎王まつりフォトコンテスト入賞・入選写真展
 (いつきのみや歴史体験館にて8月30日まで)
 9月 6日(木) 伊勢まつり会議(斎宮歴史博物館にて)
 11日(火) 伊勢まつり会議
 29日(土) 伊勢まつり斎王・あこめりハーサル
 10月 3日(水) 伊勢まつり 斎王群行用衣裳準備
 4日(木) 役員会(臨時総会について・伊勢まつり・ポスター決め)
 7日(日) 伊勢まつり 斎王群行
 9日(火) 衣裳片付け
 12日(金) 臨時総会
 14日(日) 三重物産展 十二単装着実演(第25代斎王・鳥井)
 25日(木) 伊勢まつり反省会
 27日(土) 「浪漫まつり」協力 (斎王役・松本・女官役2名)
 11月 6日(火) 古道まつり衣裳準備
 9日(金) 勉強会 講師・斎宮歴史博物館 榎村先生
 梅まつり会議
 11日(日) 古道まつり 中止・衣裳片付け
 24日(土) ざいしょ市参加(イオン明和ショッピングセンター 着付け体験)「小町」協力
 30日(金) 明和町ガイドブック会議
 役員会・実施班会議
 12月 1日(土) 斎王群行 出演者 募集開始
 9日(金) 読売新聞社 取材
 26日(水) 明和町ガイドブック会議
 27日(木) 事務所仕事納め

第31回（平成25年度）斎王まつり実行委員会組織体制

役職名	代表 土井 祐治	名譽会長(町長) 中井 幸充	顧問 木戸口 真澄	西場信行	浜井初男	池山マチ	北岡 泰
本部	副代表 笛川 浩	副代表 岩佐 康則	副代表 森田 均	事務局 山中 いずみ	相談役 辻 孝雄	北村純一	東谷泰明
会計監事	会計監事 朝倉 唯夫	久世 晃	西川道子	西川道子	渡邊幸宏	森下 清	田中 貢
9							

小委員会名	任務分担の内容	構成する委員の氏名					
総務・財務班	総務の実施 財務の実施 グッズ販売・スタンプラリー等 斎王市の実施	○森下 清	○堀木茂生	竹内克巳	大西俊次郎	辻 孝雄	中川裕正
会場班	着付会場内の管理 出演者の移動 記念写真	○東谷泰明	○北川和樹	石田豊喜	澤 恒一	中瀬正実	橋本久雄
着付班	着付け準備と後片付け	○新田一子	○清水清子	○田中政子	○西宮幸代	衣斐喜代美	竹内喜子
まつり実施班	前夜祭の実施 禊の儀の実施 出発式の実施 群行の実施 社頭の儀の実施 アラグーションの実施	○関岡武夫	○北岡 泰	○北村哲也	○早川潤一	○森菜津子	○八田明美
広報班	ポスター・パンフレット原案作成 広報・宣伝事業計画	○山内 理		○中西修一	○永島せい子	○石田藤生	○伊串金市
7				北山房夫	小林邦久	佐々木久夫	龟村定雄
13				西岡信行	長谷川新	辻 满寿美	西山浩一
13				秋山修一	伊藤佳史	三浦邦昭	中島 宏
27				間宮一彦			市野秀世
27							辻 正
1							乾 健郎

敬称略・順不同 (○は班長 ○は副班長) 平成25年4月28日現在

群行衣裳



れ、貞觀・延喜式制に継承されているが、その後次第に増員され、長元八年（一二〇三五）の『看督長見不注進状』（『平遺』五二九・三七）では左右合わせて十五人を数える。獄直や犯罪の搜査・追捕等を任務とする。尉を中心として編制される警察部隊の一員として出動することがあるが、単独ないし少数の従者を率い、事に従うことが多い。しばしば行き過ぎた捜査や追捕を行い、京民から頼りにされる一方で、恐れられもした。その武力は悪鬼魔神を懾伏するという信仰を生み、『徒然草』二〇三には主上御惱の時、五条の天神に看督長の鞍をかけることが見え、『神道名目類聚抄』には守門の神を看督長と称したとある。

隨身【ずいしん】
随身とは、貴族が外出する際に警護にあたつた近衛府の官人を指します。それには高い教養と優美な美貌が求められたと云います。



長奉送使【ちょうぶそうし】



監送使ともい。斎王一行を伊勢まで送り届ける群行の最高責任者。沿道における警察権が与えられており、任を終えると直ちに帰京しました。

檢非違使【けいひいし】



平安時代から室町時代にかけて京中の警察を担当した職。元来、平安京の治安維持は京職や衛府の任であったが、特定の官人に京中の警察を担当させることがあり、それが檢非違使となり、やがて衛府や京職、彈正台などの権限を吸収し、王朝國家有数の警察機関となつたのである。

看督長【かどのおさ】

檢非違使の下級職員で、身分は火長。弘仁式制では左右それぞれにつき二人と定めら



斎王の乗る輿（葱華輦）を担ぐ人【かんむり おいかわ くわい】



駕與丁【かよちょう】



天皇の即位ごとに、未婚の内親王（天皇の娘）あるいは女王（天皇の兄弟の娘など）の中から占いで選ばれ、天皇の譲位や崩御、あるいは肉親の不幸などにより解任され、都に帰る決まりになつてきました。伊勢神宮の祭りには、六月・十二月の月次祭と九月の神嘗祭に関わるのみで、ふだんは斎宮の中でも都と同様の生活を送つていたものと考えられています。

古代から中世にかけての文学作品に登場する斎王も多く、『源氏物語』『伊勢物語』など、多くの文献に残されています。

十二単【じゅうたん】



1. 垂髪 2. 唐衣
3. 表着 4. 打衣
5. 衣(桂) (枚数を重ねている)
6. 単 7. 長袴 8. 裳(全体)
9. 裳の小腰 10. 裳の引腰
11. 檜扇(朧扇) 12. 帖紙
13. 日陰の糸(玉かずら)
※斎王が付けていたかどうかは定かではありません。



には袴と裳をつけます。袴は緋の長袴（若年未婚は濃色）、裳は背にあてて結び、後に長く垂らして引きます。

斎王【さいおう】

天皇の即位ごとに、未婚の内親王（天皇の娘）あるいは女王（天皇の兄弟の娘など）の中から占いで選ばれ、天皇の譲位や崩御、あるいは肉親の不幸などにより解任され、都に帰る決まりになつてきました。伊

勢神宮の祭りには、六月・十二月の月次祭と九月の神嘗祭に関わるのみで、ふだんは斎宮の中でも都と同様の生活を送つていたものと考えられています。

古代から中世にかけての文学作品に登場する斎王も多く、『源氏物語』『伊勢物語』など、多くの文献に残されています。

十二単【じゅうたん】



1. 垂髪 2. 唐衣
3. 表着 4. 打衣
5. 衣(桂) (枚数を重ねている)
6. 単 7. 長袴 8. 裳(全体)
9. 裳の小腰 10. 裳の引腰
11. 檜扇(朧扇) 12. 帖紙
13. 日陰の糸(玉かずら)
※斎王が付けていたかどうかは定かではありません。



には袴と裳をつけます。袴は緋の長袴（若年未婚は濃色）、裳は背にあてて結び、後に長く垂らして引きます。

斎王【さいおう】

天皇の即位ごとに、未婚の内親王（天皇の娘）あるいは女王（天皇の兄弟の娘など）の中から占いで選ばれ、天皇の譲位や崩御、あるいは肉親の不幸などにより解任され、都に帰る決まりになつてきました。伊

勢神宮の祭りには、六月・十二月の月次祭と九月の神嘗祭に関わるのみで、ふだんは斎宮の中でも都と同様の生活を送つていたものと考えられています。

古代から中世にかけての文学作品に登場する斎王も多く、『源氏物語』『伊勢物語』など、多くの文献に残されています。

内侍または命婦【ないしまとはみょうぶ】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



1. 冠 2. 緋綾 3. 太刀

内侍【ないし】



斎王フォトコンテスト

斎王賞



町長賞



明和町議会議長賞



禊の儀「斎王献花」 鈴鹿市 外海 善直

フォトコンテスト

◆サイズ

・カラーまたは白黒作品でサイズは四つ切のみ。

◆応募締め切り

・平成25年7月12日(金)当日消印有効

・(郵送中の事故破損については責任を負いかねます。)

◆応募方法

・応募票を作品裏面に貼付、郵送または斎王まつり事務所受付。

◆応募上の注意事項

・応募作品には応募者本人が撮影したもので
人3点以内(未発表の作品に限ります)。・応募票の各項目に楷書で記入し、題名・お名前
にはかならずフリガナをつけてください。

・(複数応募の場合はコピーしてください)。

・入賞、入選作品については、あらためてデーター
ーをお借りすることができます。・パンフレットやポスター、ホームページなどへの使用
権は主催者に帰属します。

・応募作品のご返却はいたしません。

◆応募・問い合わせ先
8月上旬に入賞者にのみ直接通知いたします。

・入賞は、10賞(斎王賞ほか)、入選は10作品

・選考方法
作品は斎王まつり実行委員会で選考いたします。◆発表
8月上旬に入賞者にのみ直接通知いたします。◆応募先
三重県多気郡明和町斎王まつり実行委員会事務局

志摩市 山本 幸平

「式典を終えて」



特別賞



「楽しい群行」 明和町 西岡 育生

斎宮歴史博物館長賞



「禊の儀式」 松阪市 高柳 美鶴代

特別賞



「愛しき斎王」 明和町 藤川 洋子

特別賞



「斎王群行」 松阪市 三瀬 誠

特別賞



「禊に向かう」 津市 名嶋 教恭

特別賞



明和町教育長賞



「斎王のほほ笑み」 明和町 早川 洋

◆応募・問い合わせ先
〒515-0321
三重県多気郡明和町斎王まつり実行委員会事務局
電話 0596-52100544
FAX 0596-52100544



第28代斎王役
松本 夢歩

斎王役を務めて

御簾が上がり、スポットライトに誘われ一歩を踏み出した前夜祭。歩く度に感じる十二単の重みから、「斎王まつり」の歴史を感じると共に、檜扇伝達では歴史を象徴するバトンを受け継ぎ、1年間のお務めを全うしようと思に誓いました。

斎王群行では、葱華蓮に優しい風が吹き抜け、斎宮の地が歓迎してくれているようでした。沿道にはたくさんの方々の笑顔が溢れ、毎年楽しみにしてくださっている方々の温もりと共に伝わってきました。

幼少の頃には知り得なかつた、たくさんの方々の支援やお気持ち……舞台に立つことで、それはしっかりと『形』になつてることが分かりました。素晴らしい景色やお心遣いに感謝申し上げます。

今後の斎王まつりが新たな旅立ちを迎え、更なる発展を遂げ、全国へ発信していくことを祈っております。また次に引き継ぐバトンにも、色鮮やかな歴史が刻まれますように、重ねてお祈り申し上げます。

子ども斎王を務めて

初めて斎王まつりに参加したにも関わらず、子ども斎王役になれたのでとても驚きました。そうかれんでは、ゆれるのが少し怖かつたけど、群行をしている間になれてきたので緊張せずに楽しむことが出来ました。

この子ども斎王役をして斎王の歴史や文化、暮らしにも興味を持つことができました。

この経験を生かしてこれからも色々な事に挑戦したいと思います。

今年は、第三十二回目の開催となります。又、明和町の誕生五十五年という記念する年を迎え、サブタイトルに「新たなる旅のはじまり」を掲げ、未来に向かう新しい斎王群行の出発にしたいと思います。

地元明和町民のみなさん、町内外の協賛企業のみなさん、斎王市出店のみなさん、アトラクション出演のみなさん、明和町役場のみなさん、その他各種団体のみなさん、たくさんの方々に応援をして頂き、また、全国からたくさんの人々が、初夏の風が吹き野菖蒲の花が咲く「いつきのみや」に集い、素晴らしい第三十二回の「斎王まつり」になりますよう願っています。



新たなる旅のはじまり

斎王まつり実行委員会 代表 土井祐治



子ども斎王
高 山 華 奈



葱華輦復元模型(斎宮歴史博物館蔵)

主催／斎王まつり実行委員会

後援◎三重県、明和町、明和町教育委員会、中部運輸局三重運輸支局、斎宮歴史博物館、公益財団法人 国史跡斎宮跡保存協会、(財)民族衣裳文化普及協会
明和町観光協会、近畿日本鉄道株式会社、NHK津放送局、三重テレビ放送(株)、三重エフエム放送(株)、松阪ケーブルテレビ・ステーション(株)
問い合わせ◎斎王まつり実行委員会事務局 TEL.0596-52-0054 FAX.0596-52-7274